

LIFE 入力担当者 様

一般社団法人 北海道老人保健施設協議会
会長 星 野 豊

北海道老人保健施設協議会 科学的介護情報システム（LIFE）活用支援委員会発足に伴う
アンケート回答ご協力のお願い

立秋の候、会員各位におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、標記につきまして、会員施設職員が科学的介護情報システム（以下 LIFE）への理解を深め施設内における LIFE 入力業務、役割分担等の体制構築、フィードバックを活用するための方策検討等についての支援、LIFE に関する情報の発信や会員施設からの相談対応、アドバイス等の支援を北海道老人保健施設協議会で一元的に行う目的にて、この度「LIFE 活用支援委員会」を発足する運びとなりました。

この「LIFE 活用支援委員会」では、目的達成に向け4ヶ年の活動計画のもと事業遂行を進める予定でありますが、その第一段階として会員施設での LIFE に関する現状の課題などを把握するためアンケートを実施することとなりました。また、アンケートは今後複数回実施し、アンケート結果につきましては、北海道老人保健施設協議会ホームページ内で会員施設の皆様に有益な情報となるよう発信して参ります。

皆様もご承知のとおり、これからフィードバックデータの内容も大きく変わる事もあり、LIFE の活用や加算算定は今後の老健施設運営には必要不可欠となります。この度はお忙しいところ誠に恐縮ではございますが、アンケートの趣旨をご理解いただき、会員全施設の皆様からご回答頂けますよう、ご協力の程何卒宜しくお願い申し上げます。

記

アンケート調査（実施）期間：第1回 令和6年8月16日（金）～令和6年8月30日（金）
※アンケートは今後複数回実施予定です

アンケート回答方法：北海道老人保健施設協議会ホームページ内アンケート
[一般社団法人 北海道老人保健施設協議会 \(doroken.jp\)](https://www.doroken.jp) ※上段「LIFE」ページ
※回答時間は5分程度です



入所アンケート用



通所アンケート用

対象者：LIFE 担当、LIFE 入力担当職員及び LIFE 未導入 の会員全施設
看護・介護・リハビリ・相談員職等

以上

一般社団法人 北海道老人保健施設協議会

「LIFE 活用支援委員会」 4ヶ年活動計画 概要

■ 1・2年目 (R6. 4. 1~R8. 3. 31) 【現状の把握期】

目標：LIFEに関する現状の課題を当委員会が把握し、会員施設へ課題の認知を促す。

《活動内容》

- ・会員施設の LIFE に関する課題や当委員会への期待を把握する為に、アンケートを実施する。
- ・アンケート結果を公表する事で、会員施設自身で課題を認知する機会を促す。
また会員施設自身で立ち位置を理解する機会を促す。
- ・LIFE 加算算定の必要性について啓発活動を行っていく。

■ 3年目 (R8. 4. 1~R9. 3. 31) 【算定母数の向上期】

目標：会員施設において、LIFE 加算算定施設（一項目でも可）を 100%に近づける。

(全国老健の加算算定率が令和5年4月で77.7%)

《活動内容》

- ・算定に弊害となっている事象についての情報を発信していく。
- ・会員施設同士での情報交換の機会を作り、活用の糸口を見出す機会を作る。

■ 4年目 (R9. 4. 1~R10. 3. 31) 【質の向上期】

目標：フィードバックデータを活用し、会員施設自身で行動計画を立案する事ができる。

《活動内容》

- ・フィードバックデータを読み取るための情報を発信していく。
- ・フィードバックデータから改善計画や自施設の強みを伸ばす計画を立案する方法を学ぶ機会を作る。
- ・会員施設からの相談対応を行える仕組みを作る。